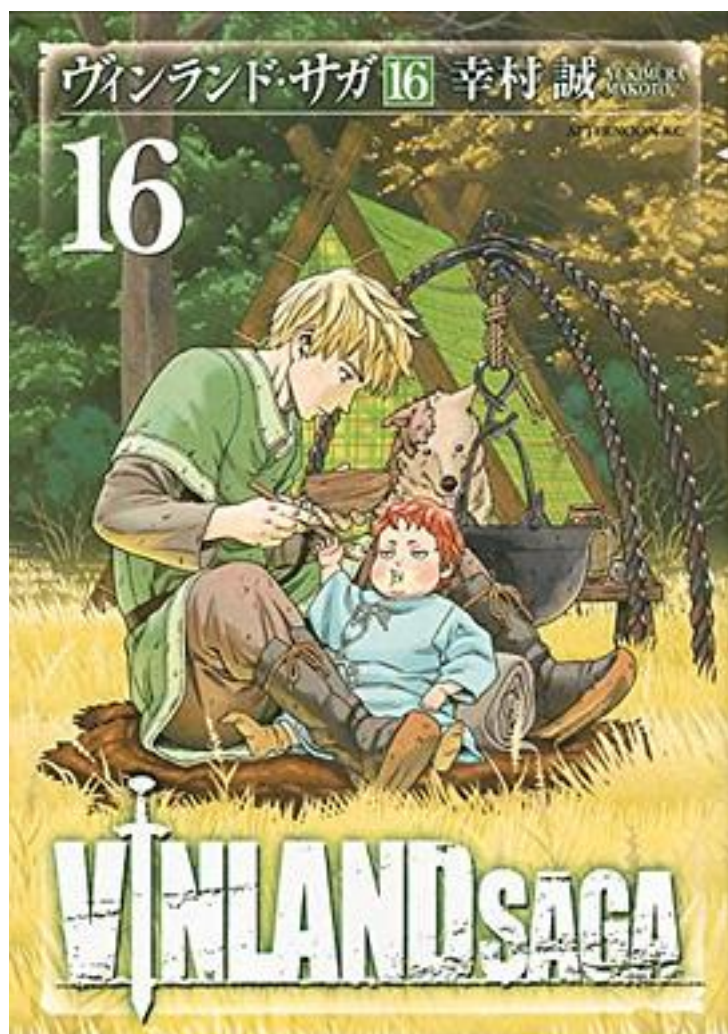


ヴィンランド・サガ 16



[ヴィンランド・サガ 16 下载链接1](#)

著者:幸村誠

出版者:講談社

出版时间:2015-6-23

装帧:コミック

isbn:9784063880625

戦争も奴隷制度もない国を作るためヴィンランドを目指すことを誓ったトルフィンは

、遠征のために必要となる莫大な資金を得るために東方ギリシアの都・ミクラガルドへ向けて旅立った。船乗りになることを願い、夫のもとを飛び出した花嫁・グズリーズがトルフィンの仲間に加わり、さらに、身寄りのない赤ん坊と犬も加わった。その船を花嫁奪還を誓うハーフダンの息子・シグルドが追う!!

作者介绍:

幸村 誠

1976年5月4日生まれ。神奈川県横浜市出身。血液型B型。

「モーニング」掲載の『プラネテス』でデビュー。現在は「アフタヌーン」にて『ヴィンランド・サガ』連載中。

2002年、第33回星雲賞コミック部門賞受賞。

座右の銘:「あ、一瞬待ってください、じゃ半日でもいいです」

目录:

[ヴィンランド・サガ 16 下载链接1](#)

标签

日本漫画

幸村誠

青年漫畫

辛村诚

講談社

历史漫画

コミック



评论

“復仇是沒有止盡的，如此愚行何以繼續？” “為了和平。如果不給好人懲罰壞人的時機，誰要當好人呢？” 在這個故事中，維京既是時空背景也是隱喻，人鬥人，人食人，彼此視為理所當然的理由並非奇觀與民俗，而是必須接受的倫理，如此野性的道德置於前，托爾芬自然能以八歲童身開始海盜事業。長大後的他成了這套倫理宗法（這裏稱為宗法是褒意）外的流浪者，但這不等於讓他有了批評這套倫理的餘裕，他深知以暴制暴的正當性太大了，甚至大的有如自然本身，基督教謂之的饒恕不過存於天上而矣。所以，他在現世為了殺人擁有罪惡感，在他欲建的新大陸也將因認同過去宗法而成為某種罪人，這是終極的流放，而他不得不去行。惡的輪迴仍在持續。

剧情拖够了吧

[ヴィンランド・サガ 16_ 下载链接1](#)

书评

[ヴィンランド・サガ 16_ 下载链接1](#)